

## 益田市 (ますだし)

### 土地利用・農業概況

総面積 73.3 千 ha と県内で最も広く、耕地面積は 2,180ha。沿岸部は県内で最も温暖な地域である。高津川、益田川の流域沿いの谷間や盆地に農地が広がるが、下流域を除いて平坦部は多くない。稲作や畜産が盛んであるが、施設野菜ではメロン、トマト、果樹ではぶどう、西条柿、ゆず等も多く、団地化も図られており、国営農地開発地では規模の大きい畑作経営も見られる。源流部・上流域では特産のわさび栽培も盛んである。



益田市特産のアムスメロン



### 主な農産物等

区分	主な作物・特徴のあるもの等 (地域、規模)
米・穀類	米 (782ha)、“ヘルシー元気米”、大豆
畜産	肉用牛、生乳、鶏卵、ブロイラー
露地野菜	はくさい、キャベツ、たまねぎ、ブロッコリー
施設野菜	メロン (益田)、トマト (益田)、ほうれんそう (益田他)、いちご (美都)
果樹	ぶどう (益田)、かき (益田)、ゆず (美都)、くり
花き	ばら (益田)
特用作物等	わさび (匹見)、しいたけ、ケール

## 津和野町 (つわのちょう)

### 土地利用・農業概況

総面積 30.7 千 ha、耕地面積は 797ha。県の西端に位置する。耕地は高津川流域の谷あいには広がり、標高は高津川沿いの 100m 以下から支流域の 500m 程度までの範囲にある。基幹の稲作は輸出を意図したヘルシー元気米の発祥地であるほか、和牛も盛ん。地域環境を活かした山菜類や枝もの花きの取り組みが特徴的で、近年は産直向け野菜・特産物づくりが盛んになっている。



地域で広く栽培されているわさび

### 主な農産物等

区分	主な作物・特徴のあるもの等 (地域、規模)
米・穀類	米 (382ha)、“ヘルシー元気米”
畜産	肉用牛
露地野菜	産直向け野菜類、人参、里芋
施設野菜	メロン、ほうれんそう、ミニトマト
果樹	くり
花き	柿、トルコギキョウ、シクラメン
特用作物等	わさび、たらの芽、こごみ、その他山菜類